

天満屋倉敷店 2014年7月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
6/27(金)～7/3(木)	<p>吉村楽入 茶陶展</p> <p>桃山時代より500年にわたり受け継がれてきた楽焼の伝統を守りつつ、意欲的にこれからの時代の茶道を継承される三代楽入先生、倉敷初の展覧会です。先生は昭和34年吉村楽入長男として生まれ、同志社大学卒業後、陶芸の道へ。平成元年「楽入窯」を創始以降、主宰として従事。平成16年父より楽入を継承、萬福堂 吉村楽入を襲名。黒楽茶盤、赤楽茶盤、香合、花入など約100点の展覧となります。</p>
7/4(金)～7/10(木)	<p>三宅義一 吹きガラス展</p> <p>1972年岡山生まれ。大学卒業後に愛媛県の吹き工房 村上恭一氏に師事。その後日本を代表する吹きガラス作家 船木倭帆氏に9年間師事し、2009年に独立し、郷土の岡山に吹きガラス工房を設立。船木先生譲りの使いやすく、実用的でかつ美しいガラス器を作られる先生の、天満屋倉敷店では2年ぶりの個展です。花器、鉢、ワイングラス、コップなど約400点の展示となります。</p>
7/11(金)～7/17(木)	<p>坂井昇日本画展 ～四季の遷ろい～</p> <p>繊細で優しいタッチで四季の美しい花々を描く、現代京都画壇の実力作家 坂井昇先生倉敷初の個展です。「日本美術の恩人」と呼ばれたフェノロサが眠る天台寺門宗本山園城寺の襖絵を10年の歳月をかけ、2007年に完成。源氏物語を題材に描いた作品は、ユニセフの和柄グリーティングカードにも採用されるなど、ご活躍中の坂井先生の作品約30点の展覧となります。なお、週末には作家来場予定です。</p>
7/18(金)～7/24(木)	<p>兎月庵 山田幹雄 土の器展</p> <p>自家精製の藁白釉に黒く艶やかな鉄釉を掛け合わせた釉薬を用いた作品を中心に、天目釉など多様な釉薬を使い分け、多彩な色調の焼き物を創る陶芸家であり、九谷焼きの地で土ものを制作される山田幹雄先生の倉敷初の個展です。壺、花器、酒器、食器など約100点の展示予定です。</p>
7/25(金)～7/31(木)	<p>現代洋画人気作家六人展</p> <p>現在、洋画壇で活躍中の6人の作家の方々による得意のモチーフ・技法を駆使した、円熟味のある作品を一堂に集め展示いたします。 (出展作家)白鳥 未行、前田 麻里、椋野 茂美、身野 友之、矢ヶ部 昭彦、渡壁 公義 いずれの作家も発表価格は号単価約3万円からで、約30点の新作展示となります。</p>

営業時間 10:00～19:30

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ
天満屋倉敷店 販売計画
TEL 086-426-2205
FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。